

「コロナ禍における家族の在り方」

令和3年11月27日、吉田京子さんを講師にお迎えして、講座を開催いたしました。
新型コロナウイルス感染防止対策の為、定員を減らしての募集とし、15名の方にご参加
いただきました。



【講師】

吉田 京子さん

- ・公認心理師
- ・臨床心理士
- ・学校心理士

- ・八幡浜市学校教育課スク
ールライフアドバイザー
- ・スクールカウンセラー
- ・人間環境大学非常勤講師

2年近くに及ぶコロナウイルスは大人から子供まで影響を与えています。講座ではコロナ禍で増えているDVについて、家庭とは家族とはという視点からお話いただきました。学生さんはリモートでの勉強で学校に行けないため、友人と会ったり話したりできないことで孤独を感じているかもしれません。大人も仕事や家庭でのしんどさを同僚や友人に話せない状況が続いているかもしれません。その中で家庭での家族のあり方を改めて見直すことは大切なことかもしれません。参加者の方からは、講師の方の人柄が表れており温もりのある講演でした。「よかったです」というお声をいただきました。



会場風景

《参加者の声》

- ・DVについて知らない方、DVに合ってもDVを受けていると気付かなかった人たちは、自分の事として受け止められるきっかけになったと思います。
- ・DVの事を知って、理解して、支援の体制が整う事が大事だと感じた。
- ・内容もわかりやすく説明して頂き、関心を持って聴かせていただきました。
- ・いかなる状況においても孤立しない事は大切だと思います。



この他にもたくさんのご意見ご感想をいただきました。ご参加の方には新型コロナウイルス感染防止にもご協力いただき、ありがとうございました。